1. 農薬診断画面の「履歴ID」「作物名」追加表示(PC版のみ)

農薬診断画面に「履歴ID」および「作物名」を追加表示し、対象栽培履歴の登録作物情報の確認を容易とする。





※スマホ版では「作物名」が表示

2. 「一括更新」機能の追加対応

一括更新機能は『作業』『施肥』『防除』の履歴情報が更新対象です。

モバイル機能を利用し、作業、施肥、防除の各作業登録を行う際に、「同年度産」かつ「同作物」栽培履歴に対して、一括登録を可能とする。

<履歴編集画面:「一括更新」ボタンの追加>

- ●「一括更新」:同年度、同作物の履歴に対して、一括更新(登録・削除)が可能となります。
 - ①登録更新:一括更新先の栽培履歴に同更新内容を反映する。
 - ②削除更新:一括更新先に同一履歴が存在する場合に、更新先の同履歴を削除する。
 - ※登録の場合、更新先にすでに同一の履歴が存在する場合は反映されません。また削除の場合、更新先に同一履歴が存在しない場合は削除反映されません。(履歴の反映有無にかかわらず、更新先の「最終更新日時」は更新されます。)

< P C 版:操作の流れ> PC版 一括更新機能 窗 履歷編集 窗 履歴概要 履歴編集画面に「一括更新」ボタンが追加されます。 トマト 1170000319 圃場No. 面積 栽培開始: 2025/09/10 * 作業の管理 1 播種日 2 収穫日 記入欄追加 提出する 削除する 更新する 窗 施肥内容 10 kg/10a ★ 病害虫防除(プレ印字されているもの) No 適用病害虫 薬剤名 使用倍率・量 使用時期 回数 散布宝施月日 1 設定なし ジベレリン協和液剤 開花時 収穫前日ま 2 2 コナジラミ類 三井東圧アルバリン顆粒水溶剤 2000~3000 倍 病害虫防除(追加用) 薬剤名 使用倍率・量 数布宝施日日 散布实 1 20961 Q 三井東圧アルバリン顆粒水溶剤 3000 Q 7 Q

2. 「一括更新」機能の追加対応

一括更新機能は『作業』『施肥』『防除』の履歴情報が更新対象です。

< P C 版:操作の流れ> ※例:防除履歴の一括更新

①履歴編集画面より作業・日付等の履歴内容編集し、「一括更新」を選択する



②「履歴の一括更新」画面が表示されるため、更新対象の履歴を選択(図)する

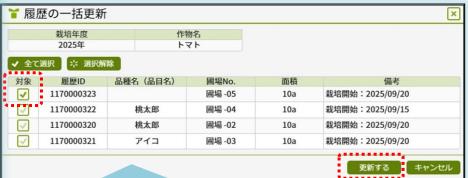


※留意事項※

同年度・同作物履歴に同一の登録を実施しても、栽培履歴ご とに設定されている様式基準(プリセット)によっては更新後の 診断結果が異なりますので、ご注意ください。

また、意図していない栽培履歴への作業登録の誤りや、成分や剤別回数の超過等、ご注意のうえご活用ください。

③対象を選択後(☑)、「更新する」を押下し、一括更新処理が完了です



- ・同年度、同作物の履歴が一覧表示されます(更新日時降順)
- 対象を選択(□)することで、一括更新対象を選択可能です。
- ・「更新する」を押下し、更新した栽培履歴とともに選択した栽培履歴 が同更新内容で一括更新されます

2. 「一括更新」機能の追加対応

一括更新機能は『作業』『施肥』『防除』の履歴情報が更新対象です。

スマホ版 一括更新機能

歴が同更新内容で一括更新されます

<スマホ版:操作の流れ> ※例:防除履歴の一括更新

①履歴編集画面より作業・日付等の履歴内容編集し、「一括更新」を選択する



②「履歴の一括更新」画面が表示されるため、 更新対象の履歴を選択(図)する



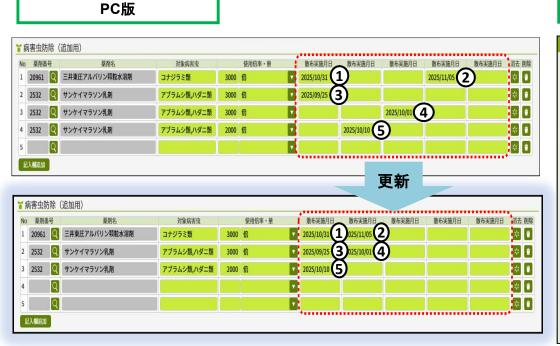
③対象を選択後(☑)、「更新する」を押下し、 一括更新処理が完了です



2.【補足】「一括更新」機能の追加対応:作業項目の集約化について

作業・施肥・防除の各作業更新時、同防除内容が下記例のように"<u>複数行に分かれている</u>"または"<u>散布実施日が</u> 散らばっている"場合に、誤登録の防止や日付確認が容易となるよう、同防除内容行を自動集約する。

例:防除履歴 ※各作業更新時に空項目が存在する場合は、上行・左列詰めにて自動整頓されます。



スマホ版



・①と②の間の空項目が上行詰めされる

- ・①と②が左詰めされる
- ・③と④は同一内容であるため、2行目に集約される
- ・⑤と③は同一農薬だが「使用倍率」の値が異なるため集約されず、上行に移動する

2.【補足】「一括更新」機能の追加対応:肥料単位の表示について

肥料マスタに設定された肥料単位を参照可能とし、確認が容易となるよう表示形式を変更する。



スマホ版

履歴画面

● 一覧に戻る

● 履歴情報

作業の管理

施肥内容

使用量:

使用日:

肥料名:

2025/09/20

10ml/10a

研修肥料

使用量: 10kg/10a

2025/09/20

アミノ酸 有機液肥 500ML



0 8

新規作成 🚺

履歷編集(作業/施肥/防除履歷)

8



施肥内容

PC版



手入力で登録した肥料(その他肥料)の単位は一律「kg/10a」です。 また、一括更新にて更新された施肥内容についても更新内容に従った施肥内 容および肥料単位が登録されます。

3. 推奨(プレ印字)農薬の散布量手入力機能の追加対応

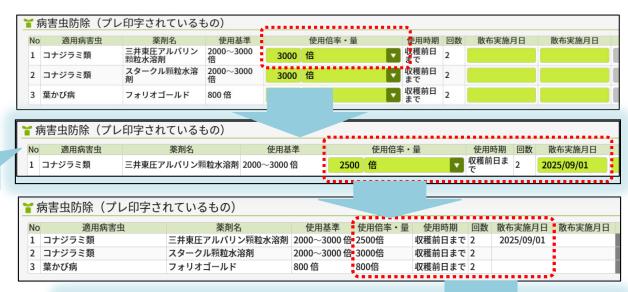
JAが設定した「推奨農薬(プレ印字農薬)」を防除登録する場合に、「使用倍率・量」を手入力可能とする。

PC版

病害中防除(プレ印されているもの)に対して、使用倍率・量が編集可能となります。

「3000倍」を「2500倍」へ編集し、更新

「編集した使用倍率・量」にて防除 履歴が登録されます。



<農薬診断>

- ・設定された適用情報と入力情報を 照合し、診断結果判定の処理が なされます。
- ・適用情報の範囲外または適用外の 情報を登録した場合は、診断結果 NGとなります。



3. 推奨(プレ印字)農薬の散布量手入力機能の追加対応

スマホ版

病害中防除(プレ印されているもの)に対して、使用倍率・量が編集可能となります。



「編集した使用倍率・量」にて防除履歴が登録されます。



- ・設定された適用情報と入力情報を照合し、診断結果判定の処理がなされます。
- ・適用情報の範囲外または適用外の情報を登録した場合は診断結果NGとなります。

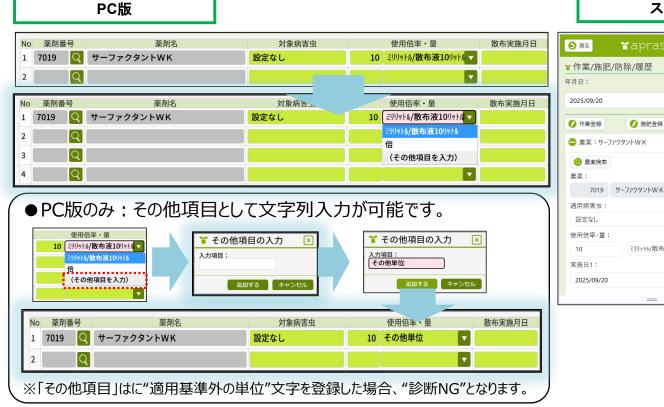
3.【補足】推奨農薬の散布量手入力機能の追加対応:単位選択

使用倍率・量を入力する際に選択した適用情報に従った「単位」を絞込み表示します。(選択設定誤りの防止)

例: サーファクタントWK 『10mL/散布液10L(1000倍)』



単位として「mL/散布液10L」または「倍」のみ 選択可能となります。



スマホ版

Tapras 生産履歴システム

施肥登録

ミリリットル/散布液10リットル



4. 農薬選択画面の表示内容の集約化(スマホ版)

P C 版と同様に、スマホ版の農薬選択画面に表示される「対象(病害虫・雑草)」の表示を「対象(病害虫・雑草)」 以外の情報が同一の場合は集約表示し、選択操作を容易とする。

スマホ版

※この変更による農薬診断結果への影響はありません。





成分使用回数(マ

ン)

P C版と同様の項目表示となります